

(会議の経過) 第6回千種中学校区就学前の教育・保育検討委員会

発言者	議題・発言内容
委員	今日は認定こども園ガイドラインの素案ができたということで資料が用意してあるので、事務局から説明後、先日の視察の感想を言ってもらい、その後、千種の委員会でどのような方向性で行くのか意見をいただきたい。
事務局	このガイドラインは現在、まだ素案ということでご理解いただきたい。11月5日の全体会でガイドライン案をお示しし、さらに同月14日の部会で意見をいただき、部会については終了し、再度、全体会で協議していくことになった。 ※資料について説明。
委員	ガイドラインについても色々意見があると思うが、今までここで協議してきたことが大体は網羅されているかなと思う。では、公立の竹田こども園と私立のこくふこども園の視察の感想と千種の検討委員会としてどうしていけばいいか方向性も含めて意見を出してもらいたい。では、順にお願いします。
委員	公立の竹田こども園は、保育料も含めてしっかりしているなあという印象。私立こくふでは、話の中に経営、運営の言葉が所々出たことが気になった。認定こども園をやっていくなら相当腹をくくらないとダメと言われた。こくふの地域ほど千種で人が今後増えていくとは思えないので、千種はやっぱり公立かなと思った。建物は良かった。理事さんの、地元を支えてもらっているという想いも伝わった。どちらの園長先生もしっかりされていた。人事交流など人が育てられる土壌ができていると感じ、そういったことも千種で必要と思った。
委員	建物など実際に見て良かった。公立のところは、宍粟市よりも行政と地域がもっと議論されて、話を練って練ってやってこられたように感じた。宍粟市ももっと議論が必要だと思う。
委員	公立でも私立でも構わないと思うが、行政と先生が、幼稚園と保育所が1つになるという方向性をしっかり確認できているからうまくいったのかなと思う。いっしょにさせてやりたいという気持ちはあるが、中途半端にやってもいい方向になるのかなとも思う。
委員	宍粟もだが、少子化、働く親の増加による保育所利用の増、幼稚園利用の減というのが時代の流れだと感じた。竹田は公立同士で、職員や建物も整備され、特に問題はないように思った。幼児教育にしっかりお金を入れていきたい気持ちを感じた。こくふは、元々5歳までの1年教育の地域で、住民理解を第一に進めてきたとのことで、理事長以下、強い思いをもって子どもたちをどう育てていくか一生懸命だった。ただ、事務量が増え、事務員を2人にして対応されている。まだどちらもスタートしたばかりで、中身、質の向上のところはどちらも手探りかなと思った。公立は市が指導するのだろうが、私立はどうされているのか、問題課題についてどこがどう対応されているのか疑問に思った。
委員	竹田こども園は、施設も環境も良かったが、3～5歳児と0～2歳児の過ごす場所が、幼稚園部と保育園部で離れているのが少し気になった。こくふは、0～5歳の縦の関係ができていると思う。運営は大変そうに言われていたが、地域に支えられ上手に運営されていると思った。社会福祉法人にまかせると決められても地域や行政と手をたずさえていかないと運営は難しいということだと思ったが、そこところの理解を得て、やっていけたらと思っている。
委員	公立竹田こども園は、教育委員会が後ろにいて、しぼりはあるかもしれないが、行政が責任をもって教育・保育をやるということでうらやましいと思う。こく

委員	<p>ふは、理事長の想いがとても強いと感じた。5歳児は小学生といっしょに登校するなど、私立と公立小学校だが、地域の理解があっつかうまく連携されていた。研修は、竹田はある程度参加されていたようだが、こくふは職員同士で高め合うというようなことを言われ、なかなか参加できないのかなと思った。まずは公立のこども園でやっていけたらいいというのが想い。宍粟市は私立のみという方針だが、豊岡は公立も私立もあり、地域で違う。こくふは人口が増えている地域だが、他の過疎が進む地域では認定こども園の話が延期になったとも聞いた。園の経営、運営のことになると、その辺のことも考えないといけない。まだまだ研究の余地がある。</p>
委員	<p>どちらの園も幼児教育を3歳からと言われたのが心強いと思った。このガイドラインも3歳からとなっている。幼稚園をなくすという話が出て反対署名が集まったのは、幼児教育を残して欲しいということだったと思う。教育と保育の違いはという話があったが、先日のふれあい文化祭で保幼小中高のこどもが参加していた。色んな世代の子が色んなことをしているのを見て学ぶ場だろうと思う。杉の子の4、5歳は自分達の演技が終わったら帰っていたが、幼稚園の子は残って他の学年がすることを最後まで見ていた。教育と保育の違いは見た目では分からないことだが、こういうことでは違いがわかるなと思った。4、5歳の教育がきちんとできる、そこがクリアできる場所にこども園をお願いしたい。幼稚園を残せば問題ない。幼児教育を残してほしいというのが要望。少子化は続き、一元化は避けられないかと思う。竹田こども園の施設や先生方を見て、よく言われる質の高い教育・保育というのはこういうことなのかな、これなら良いなと感じた。こくふは、小学校と隣接しており、千種でもできそう。設立から運営に苦労されているようだが、子どもにしわ寄せがいかないかと心配する。行政の教育・保育への思い入れが大きな差になる。子どもが減ればいずれ子育ての場なくなるのではと心配する。財政的なことも分かるが、子育てにお金をかけて欲しい。若い世代への支援も行政に求めたい。</p>
委員	<p>朝来や豊岡のこども園の整備の状況を聞くと宍粟は遅れていると感じる。千種はまだ協議中。宍粟も遅れをとらないように早く協議をしてこども園を開設に向けていかないと。朝来市は財政が豊かで、公立でできるのかなあと、豊岡市は宍粟と似たような状況で民間の活力にゆだねてという方針である。豊岡の計画を見ると、公立私立関係なく、子どもを育てることについては平等にやりましょうとある。宍粟も同じ考え方でいけばと思う。千種は特に少子化が進んでいる。早く作って、安心して預けて働ける環境をつくる必要があると思う。</p>
委員	<p>こくふは社会福祉法人だが、千種とは地域性が違うかなと。住民の理解度も違い、千種ではまだ早いかなと思った。事務が大変といわれており、心配。公立の竹田でも幼と保でやり方が違い、先生のローテーションがうまくいかず、研修も時間がとりにくくなると言われていた。どちらの園も大変、大変のイメージを受け、そのフォローが必要と思った。</p>
委員	<p>竹田こども園は、みなさん言われるとおりしっかりしていると思った。建物は両方広くてきれい。こくふこども園は、社会福祉法人で運営され、先生方は大変そうだと感じた。私たちは子どもが少なくなっており、早くいっしょにして欲しいと思う。方向性をしっかり決めて、良い環境で子どもたちに勉強なり遊びをさせてやりたいというのが1番の想い。</p>
委員	<p>竹田こども園は、公立でしっかり、きっちりのイメージ、こくふはアットホー</p>

	<p>ムなイメージを受けた。両方建物の新しさ、良さが目を引いた。竹田は周りに民家が多く、こくふはグラウンドが少し狭いように思ったが、小学校のグラウンドを使わせてもらえると言われていた。立地については最初からしっかり計画を立ててやっていかないといけない。</p>
委員	<p>災害の現場に行くことがよくあり、そういう視点でみるのだが、竹田こども園は川があふれるようなことがあったらどうするかと聞くと、未だそういうことはないが、もしあるとそれは困るところだと言われた。こくふは水害のときは近くの小学校の2階に避難できると言われた。そういうことを考えると、部分的にでも2階建の建物か、学校のような避難場所が確保できる場所がいいのかなと思う。いずれの園もスタート1年目で苦労されていた。</p>
委員	<p>質問を事前に提出していたが、どちらの園も思っていたような回答ではなく、まだまだ手探りでされているのかなと感じた。公立か私立かの話でなく、しっかりやってもらえればいい。姫路市に住んでいたときに社会福祉法人が運営する保育所に入れていたが、規模が大きく、バザー、文化祭など行事もいっぱいあり、教育にも熱心であった。先生もしっかりしていて、入れ替わりはあったが子どもは問題なく過ごしたと思う。千種は子どもも少ないが、きちんとしたものを作ってもらい、経営が難しくなっても施設をなくさないということを最低限約束してもらい、市内の他町と差が出ないようにしてほしい。</p>
委員	<p>話を聞いていると、やはりまだ時期が早いのかなと感じた。こくふでは、地域の評価のことが言われていたが、子どものことが第一ではと思う。公立のほうが安心して子どもを預けられるのかなと思う。立地条件については、杉の子さんでやっていくとして増築するよりも、小学校のそばの方が安全と思う。</p>
委員	<p>話を聞いていると、公立の方が安心なのかなと思う。こくふの場合は施設を選択肢がある中の1つであり、経営努力をされていると思う。1つだけになるとどうなるのか。子どもがどんどん減っていけばいずれ無くなってしまうのかという不安もあるが、それは公立でも私立でも同じで、例えば波賀と1つにということもあるかもしれない。そういうことがないよう保護者が安心して子どもを預けられるものをつくってもらいたい。建物も災害から守れるものを。</p>
委員	<p>公でも民でも早く方向性を出していきたい。建物や位置、広さなどは次の段階の話だと思う。</p>
委員	<p>千種の検討委員会としては、社会福祉法人が担い手となってやるならば、何をクリアできれば公立に匹敵するようなものができるか、そのために何が必要かということで協議を重ねてきた。10月1日の資料でそれをまとめ、大きく4項目が出され、こういうことができればどうかと検討も重ねてきたと思う。今日の意見ではもっと議論をする必要がある、幼児教育をなくさないようにしてほしい、早く認定こども園をつくってほしいといったことがあった。議論を重ねるとい話だが、何をもち議論をしようということだろうか。4項目にもっと加える議論なのか、あくまで公立でないだめだという議論をするのか。</p>
委員	<p>全体会での議論はどうなのか。ガイドラインもまだ素案で決まっていないというし、指針もまだ。いつできるのか。</p>
委員	<p>事務局の説明のとおり、部会の素案の段階であり、全体会でまた協議されるものと思っている。行政懇談会があって、会の終わりに市長と少し話をしたときに、会議録は読んで、まだまだ議論が足りないのではないかなと言われた。もっと深いところを議論するのがこの地域の委員会の役目じゃないのかと。</p>

委員	先ほどからの話で、公立、公立と言われるのだが、社会福祉法人というのは民間といっても個人のものではない。認可も簡単に取れるものではなく、当時の理事長が個人の財産を出して子どもたちのために、何度も申請してやっと認可が取れた。社会福祉を行うための法人であり、公的なものであるということをご理解いただきたい。保育、運営、給食などに関して、国や県の基準による監査もクリアしており安心していただきたい。
委員	行政懇談会で市長、副市長、教育長がおられ、議論を重ねて欲しいと言われたが、私は会議録を読んでもらっているのかと思った。議論を重ねているつもりなのだが、議論が足りないのはどういったことだろうか。意見をいただきたい。
委員	この話は平成18年度からの話で、千種はこの委員会は平成24年度からだが、それまでに議論もされているだろう。それが曖昧だったから時間がかかっているのかもしれないが、宍粟はまだ最初の千種でのごたごたしている。地域性がある、進んでいる丹波や但馬は行政と住民の合意がとれる地域なのかなとも思う。朝来も豊岡もガイドラインや指針を作ってやっている。それができていれば問題ないのであろう。市が民間でというなら、地域、保護者、事業者、市の4者でしっかりやっていけば問題ないと思う。こうして話を後へ後へと送っていくのは問題。
委員	なぜ時期が早いと聞かれたら答えは出にくいのではないかと思う。こくふでは、元々の職員だけで立ち上げられた。大変だったであろう。千種では、杉の子会を母体としてやってもらうにしても、保護者、地域、行政、杉の子会の理事さんで協力して作りあげていくことができるなら、認定こども園を立ち上げてもらったも良いのではないか、という話にこの検討委員会でもなってきたと思っている。みなさんはどうか。
委員	こくふこども園の場合は、受け手となる宗教法人の理事さんなどが協議の場において、そこがやるという前提で、運営する立場で進められた。この委員会はそうではなく、こうしてもらわないといけないという議論をしている。運営のことはまた別の組織で議論されること。
委員	運営のメンバーには、保護者、地域、事業者、行政がいっしょになって考えていくということが千種としての条件だったと思う。子どもが少なくなっても経営が難しくなっても保育・教育ができる施設を残すことも条件。園舎についても、今の場所ではなく、別にきちんと教育・保育ができる場所にとということも議論してきた。
委員	千種は先進地の視察には行くが、いざとなると実施できないところがある。先に作って視察に来てもらえるぐらいにならないと。
委員	今までの協議でも、市でつくるガイドラインを踏まえての議論という事務局の説明だったはず。まだガイドラインが出来上がっておらず、素案の段階。他の地域の委員会では、2か月で1回の開催でいいという話だったり、幼保一元化のことよりも学校規模のところもあり、千種だけ急ぎ過ぎなのでは。
委員	今の意見では、公立でももらえるものなら公立でももらいたいという意見だったと思う。それを1番に要望にすべき。幼稚園の認可も必要になるわけで、杉の子さんの意気込みや熱意がある。この段階では、一旦要望書を出すだけでいいのでは。
委員	ここで話をしているのは、幼稚園も保育所もゼロから考えて、新しく認定こども園をみんなで一から考えようということではないか。

委員	いざやるということになれば、色んな人で組織する、地域も保護者も巻き込んだの話になる。
委員	住民の方の理解がないと、受け手としてもお話ができない。
委員	杉の子の隣に幼稚園部分を増設してというような話だったが、市長が場所や運営主体は地域で検討せよということでこの委員会が立ち上がった。最初は、場所、時期、運営主体が決定する事項だったはず。
委員	行政懇談会で、市長が民間でやると国、県から補助金が出る、そういったところもよく考慮して欲しいと言われた。細かいことは分からないが宍粟市は財政的なこともあって、社会福祉法人で認定こども園という方針を出しているのだろう。私立の認定こども園を開設するというなら、千種としてどの程度のことまでしてもらえればいいのか、それを議論してきた。やるなら運営主体に地域や保護者も加わって、色んな人が関わってこうという話になっていたと思う。それでも社会福祉法人ではだめなのか、それならいいのか。議論が早すぎたのではないかという意見もあったが、千種の子ども数の現状を見ると本当に少ない。早すぎる議論なのだろうか。
委員	私をもっと協議をしなければいけないと言ったのは、この委員会だけでということではなく、ここでおおまかな方向が出て、その後の協議会でもしっかり議論していただき、それを聞いた住民がそれなら大丈夫といえるようお願いしたいということ。ここで具体をこうしようと決めるのは難しいと思う。
委員	具体的な話になれば、専門の人が協議に加わることも必要だろう。これまでの幼保の話で、教育委員会から杉の子の隣でということで話があったが、請願書等が出て、予算もついていたがストップしてもらって、委員会が立ち上がって地域で色々議論をしてきた。こういう機会を与えてもらったことは、請願書等を出された方の役割が大きかったと思う。色んな考え方はあると思うが、今ここまで考えてきて、どういう答えを市に投げかけていくか。
委員	最初は千種幼の場所でという話で、当時、事務局から予算はついたが、使っても使わなくてもいいという説明があり、行政に対して不信感を持った。方向性が出たら協議会に入るということだったが、小学校規模適正化のときの父兄の話を聞くと「協議会に入ったら終わり。やりたいようにやられてしまう。」とのことだった。それはダメということでストップした。不信感を持っている人も多いと思う。それを払しょくするために市長の想いが出て、市の委員会や地域の委員会ができたのだろうが、ガイドラインすら出てきていないのに議論を進めるのはどうかと思う。市のほうに待ってもらったという話をされたが、そういうことではない。
委員	民間でできるものは民間でという考えは変わらないと言われ、ガイドラインがまだ完成でないなら待つべきと思う。全体会は色んなところから代表が集まって協議されているのだからもっと大事にしてよいと思う。
委員	ガイドラインは全体の話だが、千種は千種でこれだけは必ず守ってもらいたいというところをまとめないといけない。
委員	素案を見ているが、職員の交流や研修など、これを見る限りでは今まで出てきた問題点というのはクリアできているのではないか。市長がしてないと言われても、この委員会としては議論はしてきていると思う。どういったことが議論が足りないのか。公立か私立かの問題も出ていたと思うが、このガイドラインのとおりにいけば問題ないように思う。もうちょっと場所や時期のことも少し

委員	は議論しないと。そこはまったく議論できていない。
委員	12月に全体会があるのだからガイドラインの完成を待つことでよいのではないか。7、8割が私立の認定こども園だという話だが、過疎地域だと逆に公立の方が多。豊岡市の職員は、人が少ない地域では公立でないといけないでしょう、と言っていた。地域の実情を踏まえて考えないといけない。
委員	将来的には小学校も中学校も波賀といっしょになるのではないかとも思う。なら、波賀から千種に来てもらえるくらいの物を作ったらと思う。
委員	波賀といっしょという考え方はいけない。1町に1つ、それぞれの施設があるのは絶対。
委員	今から子育てしようという親が保育所も幼稚園もないところに住もうとは思わない。子どもは未来。公立に準ずる施設と教育の現場を作ってもらわないといけない。市も無駄も未収金もたくさんある、子育てにお金をかけないなんていう話はない。市長が間違えている。未来に投資しないなんてバカな話はない。
委員	だから、公か民かじゃなく、こんな良い施設をしてほしい、こんな場所にしてほしいという議論も必要だったのではないか。今自分の子の学年が千種全体で12、3人しかいない。部活も十分できない。そういう状態の学校で育ててやるのがいいのかなと正直思う。
委員	子育てがきちんとできることを考えてもらって、人口が増えることを色んな方面から検討してもらわないといけない。先のことを考えると心配になる。人がいなくなると、どんな良い施設があっても仕方ない。
委員	相生などは保育料や給食代を無料にしたり、若い世代を集める施策を行っている。宍粟市も同じことをしたり、もっと先にやってもいいんじゃないか。
委員	行政のトップがお金がないから子育てにお金がかけれないというが、広報などを見ると、無駄があつたり未収金があつたりする。
委員	行政と地域が1つにならないとうまくいかない。今、この幼保一元化を考えると、市からどうしても懐具合から私立で認定こども園をやりたいのだがどうすればいいだろうかという相談を受けている場だと思う。色んな家庭があるように色んな市がある。裕福なところはあれもこれもできるかもしれない。そうでないところは、できる中でやっていかないといけない。ここで市長の批判をしてもこの委員会としては意味がないのではないだろうか。
委員	場所の話が出ていないので言わせてもらいたいのだが、場所はB&Gのところが良いと思う。宍粟の杉なんかを使ったり、だんろを作ったり、メディアも取り上げてくれるようなものにしてほしい。小学校と隣接している。川のことは心配だが、駐車場のスペースもとれるのでは。
委員	私はB&Gのところには反対。昭和38年災害のときに水浸しになった。もっと安全なところが良い。小学校との連携は離れていてもできる。千種高校の上のところが、水害や山崩れの心配もなく、交通の便も良い。B&Gのところはプールも必要だし、ゲートボール場も使っている。土地も三角だったり、狭く、グラウンドとして使うには不十分なように思う。
委員	学校の南が良いと思う。
委員	自校のプールがないのは千種だけで、B&Gプールももう古く、あまりこだわする必要はないかと思う。小学校のプールは別に建設してもらいたい。
委員	安全性ということ、3階建以上の建物があれば、一時的に避難はできると思う。
委員	小学校と運動場を共用するのは嫌かな。体育館も欲をいえば小学校くらいのも

委員	のが欲しい。
委員	みなさんの意見として2か所でしょうか。小学校の南と千種高の上と。
委員	小学校の余裕教室をという話も聞くが、それはどうかと思う。
委員	東小学校はどうか。
委員	雪が降ったら親が困るかと思う。
委員	送迎のことは問題と思う。それがなければ千種北小も良いと思うが。
委員	現の施設をどちらかそのまま使うという話はあるのか。
委員	今までの話の中では幼稚園は少し危険で、杉の子の場所あまり好ましくないという意見も聞かせてもらっている。時期と場所の話もあるが、方向性が出なくても先に考えるか。ガイドラインはいつになるか。
事務局	ガイドラインの素案は、細かいところを詰める必要があるが、教育委員会の審査等も経て、12月末を目途に完成させたい。質の部分はこれだけでは分かりづらいかと思うが、これまで出た課題をクリアするための仕組みについては項目としてお示しできていると思う。ただ、保護者、地域、事業者、行政の4者が一体となって進めていくことがガイドラインの基本の考え方であり、その部分がしっかりできていれば課題は解決できると考えている。できればこのガイドラインの素案で地域の委員会で判断いただきたい。
委員	市長がもっと議論をしてもらったらいいいと言ったのは、推測になるが、なぜ公立でなければならないのかといったことではないかと思う。今新たな機能を持つ認定こども園という仕組みを考えるうえで、将来的なことや財政的なシミュレーションも踏まえ、限られた財源を最大限有効に活用しなければならない。事務局としてはこのようなことから社会福祉法人に担ってもらいたい、保護者、地域、行政がいっしょになればやっていると考えている。
事務局	例えばガイドラインの4. 運営主体の事業主の選択、と項目があるが、これだけでは何をどうするのか分からない。
事務局	イメージとしては、指定管理者制度のように、基準を作ったうえで選定組織が選定していくことになる。
委員	具体的にはどういう流れになるのか。
事務局	選定について、クリアできない項目があればクリアできるようにしてもらおう。それが無理であれば担っていただけにならないということになると思う。
委員	では千種の委員会で議論し、要望してきたことをクリアできる杉の子会であればいいということか。
事務局	運営主体は社会福祉法人になるが、選定組織が選定するという。杉の子会が問題なければそのままということになるかもしれない。そう理解している。選定のところについては、おっしゃるとおり。公平に事業主を選定しなければいけないという仕組みの部分である。
委員	まずは地域で長年保育を担っていただいた杉の子さんがあるので、基準はもちろんあるが、そこは優先し、審議をしていくのが望ましいと考えている。
事務局	この委員会としては、地域やいろんな人が理事のような立場に入って運営してもらおうといった意見が出ていたと思う。市のガイドラインも大切だが、この委員会で協議してきたことを考えたら良いのではないかと思う。
事務局	事務局からは方向性を出して欲しいと言われたがどうか。ガイドラインが決定してからというのは事務局としてはどうか。
事務局	12月末を目標としているが、ガイドラインも確定ができなければ委員会に迷惑

	<p>をかけることになる。私見であるが、来年度予算に計上ができ、地域の理解が得られれば平成26年実施も可能となってくる。ガイドラインの詳細は詰める必要はあるが、大きなところは変わらないと考えているので、判断いただけないかというお願いである。</p>
委員	<p>平成25年度に幼稚園を閉園することになるのだろうか、それで認可が間にあうのか。</p>
事務局	<p>事務手続き的には、私学審議会の審議も含め、県への認可申請は可能であると考えている。</p>
委員	<p>幼稚園と保育園が1つになるために必要な研修等の期間が1年で足りるのか。もっと時間をかけて考えたらどうか。すごく焦らされているように感じる。</p>
事務局	<p>地域、とりわけ保護者の方の理解が得られるのなら、早くしたほうがみなさんに喜んでもらえるだろうという思いで言わせてもらっている。地域で1年先2年先と言われるならば、それはダメというつもりはないので誤解のないように。</p>
委員	<p>人事交流の話もあったが、今の幼稚園の先生も期間限定でこども園で採用されることになるのかなと思っている。</p>
事務局	<p>具体的な部分について決定しているわけではない。4者で話し合い、それが1番良い方法だということであれば可能かもしれない。人事異動など無理なことはあるかもしれないが、手法はたくさんあると思う。具体は協議会で議論いただき、大きな方向性の判断をお願いしたい。</p>
委員	<p>方向性を出せたらということだが、みなさんの思いとしては今日は返事をしかねるという雰囲気か。では来月ガイドラインが出たら方向性が出るのかとも思う。今後どのように進めさせてもらえばよいか。</p>
委員	<p>最初の会議で、9月にガイドラインが出てきて12月に方向性をという話だった。ガイドラインが12月にずれるなら、方向性を出すという12月にこだわる必要はないのでは。</p>
委員	<p>ガイドラインが年内に出るとして、年明け早々では遅いか。急ぐ必要はないという方と早くして欲しいという2つの意見があり、どちらの意見も聞きたい。ガイドラインを見てから方向性を決めたいという意見もあるので、事務局それでよいか。</p>
事務局	<p>内容についてこの項目から大きく変わることはないと考えている。具体詳細を見たいというご意見もわかり、それを待って審議したいというのがこの会の決定であればそれで構わない。</p>
委員	<p>方向性というのは、どこまでのことを言われているのか。</p>
事務局	<p>これまでの協議の中で、行政としては社会福祉法人を担い手として認定こども園をやっていきたいと言ってきている。今までどうしても公か民かのところで議論が進まなかった。千種として、社会福祉法人を基本とした認定こども園をみんなで相談しながらつくっていきこう、という方向性を確認してもらいたい。</p>
委員	<p>千種だけそうになって他はならないという不安がある。部会でそれは分からないという説明があり、そういう説明を聞くとどうかと思う。</p>
委員	<p>行政としては民意を重視して進めようとしているという話。運営のメンバーに地域もしっかり関わっていかねばいけない。</p>
委員	<p>将来ことを考えて早く認定こども園をつくって安心して子どもを預けられる環境をつくれればいいと思う。行政や社会福祉法人まかせではなく、家庭や地域</p>

委員 委員	が関わって運営していけばそんなに心配するようなことにはならないと思う。みんな仕事もあり、理事会の理事にも入って仕事ができる人が実際にいるのか。民になったからといって行政がほったらかしにするわけじゃない。責任をもってもらおう。
委員	認定こども園は事務は煩雑で大変とは言われていた。そこはもっと行政も力をいれてもらうほうがいいかと思う。
事務局	公立は大変じゃなくて、社会福祉法人だけが大変というのは制度としておかしいのであって、事務の煩雑さなどは、社会福祉法人と行政が話し合って解決できるものだと思う。
委員	今日はもう結論は出ないようだが、どう進めていくか。ガイドラインを待つか、千種として答えを出すのか。
委員	ガイドラインを待つべきだ。
委員 委員	子どものことを思えば、ちょっとでも早い方がいいと思う。
委員	せめて1月に。方向性を決めると引き返せない。社会福祉法人にまかせられる条件をたくさん出して、それが本当にできるのかどうか。
委員	やってみないと分からないことだってある。だったらなぜ公立だったらいいのか。
委員	公立だったら行政が全部やってくれる。
委員 委員	行政がこうするとガイドラインに書いてあると思う。
委員	今まで議論する中で色々出た条件について事務方と千種杉の子会で協議をし、それを受入れしてもらえる千種杉の子会でないと引き受けてもらえない。そうでなければ検討してきた意味がない。本当にできるのかどうかまで心配してはどこも引き受けられないだろう。
事務局	公立でつくるにしても認定こども園に求められるものは同じと思う。公立だったら求められないとか、公立は信用してもらってきちんとできる、社会福祉法人で進めるのだったらたくさん要望しておかなければいけないというのはおかしいと思う。
委員	方向性を出すにしてもみなさんそれぞれの代表であったりして立場もあると思う。私もPTAで投げかけてみたりするが、多くの方が分からない、何が本当に良いのか分からないと言われる。やってみないと分からないところもあるかもしれないが、それぞれの関係のところへ持ち帰ってもらって、どうしても決めないといけないのだが、と投げかけてもらってはどうか。
委員	心配だということも分かるが、杉の子保育園のほうが千種幼稚園よりたくさんの子供が世話になっていて、そんなに心配されなくてもよいと思う。
委員	関係のところへ持ち帰ってもなかなかまとめきれないと思う。
委員 委員	次回どうするかだけ決めておきたいが。
委員 委員	次も次も同じ議論を繰り返すのは集まってもらっているみなさんにも申し訳ない。次回で結論は出せるだろうか。
委員 委員	この素案も今日初めて見たところだし、一度持ちかえって冷静に考えて。では次回、12月か1月かだが、ガイドラインの完成が12月末だから1月にするか、それまでに千種として結論を出そうという方はいないか。
委員 委員	1月ということでもよろしいか。日程調整はお願いします。 ※了承